



# 善前小だより

No.3 平成30年6月号

6月1日 発行

住所 南区太田窪2500番地1

電話 882-7871 FAX 811-1329

ホームページ <http://zenmae-e.saitama-city.ed.jp>

「善力前進」ともに伸びよう 善前小 ～はずむ心 きたえる体 学ぼう創ろう「みどりの学園」～

## SOSを発信する力は、生きる上で大切な力です

校長 小田切 倫子

6月になりました。1学期の折り返し地点です。子どもたちは、毎時間の課題に真剣に取り組み、友達同士で考え方を“交流”させながら思考を深め、たくさんのことを吸収しています。5月中旬からは、1年生から6年生までの縦割りメンバーで構成される「なかよし班活動」も始まり、異年齢の“交流”も展開されています。

人は、一人ひとり考え方や価値観が違いますので、“交流”する中には、当然意見の食い違いや衝突が起こります。相手の「意見」や「考え方」を丁寧に聞き、お互いを尊重し合うことが大切ですが、意見をまとめる場合などには、どこかで折り合いをつけなければなりません。「意見」や「考え方」だけでなく、「性格」や「習慣」などの違いもありますので、どんなに仲がよくてもお互いを理解し合うことが必ずしも容易でないことは、大人も子どもも同じです。我慢をしなければならないこともあります。自分を強く主張するあまり、けんかになることもあります。けんかはときには必要ですが、いじめは絶対にしてはなりません。いじめは絶対に許されないという毅然とした態度を示す一方で、「いじめは、どの学校でも、どの子にも起こり得る」という認識を常にもっていることも重要です。

善前小学校では、いじめの起こらない、あたたかな学校づくりに努めてまいります。

子どもたちの言葉や行動はもちろんですが、視線や態度など些細な点にも注意を払ってまいります。

いじめを知ったときには、勇気を出して友達同士で止められる力を育てまいります。

いじめは絶対にしてはならないということを、しっかり指導してまいります。

加えて、「**SOSを発信する力は、生きる上で大切な力であること**」も、子どもたちに繰り返しメッセージしてまいります。

いじめに限ったことではありませんが、誰かを頼ることは決して恥ずかしいことではありません。いじめを受けて苦しいときはもちろんのこと、直接の当事者でなくても、いじめを受けている友達に代わって『相談』という『SOS』を発信することで、いじめを受けている人ばかりではなく、いじめをしてしまっている人をも救うことができます。いじめからは悲しみしか生まれません。相談は、どの教職員にしてくださっても大丈夫です。月2回、水曜日に来校しているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、さわやか相談員も、本校のいじめ対策委員会の一員です。

さいたま市では、6月をいじめ撲滅強化月間とし、市を挙げていじめ撲滅に向けて取り組んでいます。家庭や地域の皆様の見守りと御指導も、どうぞよろしくお願ひいたします。